

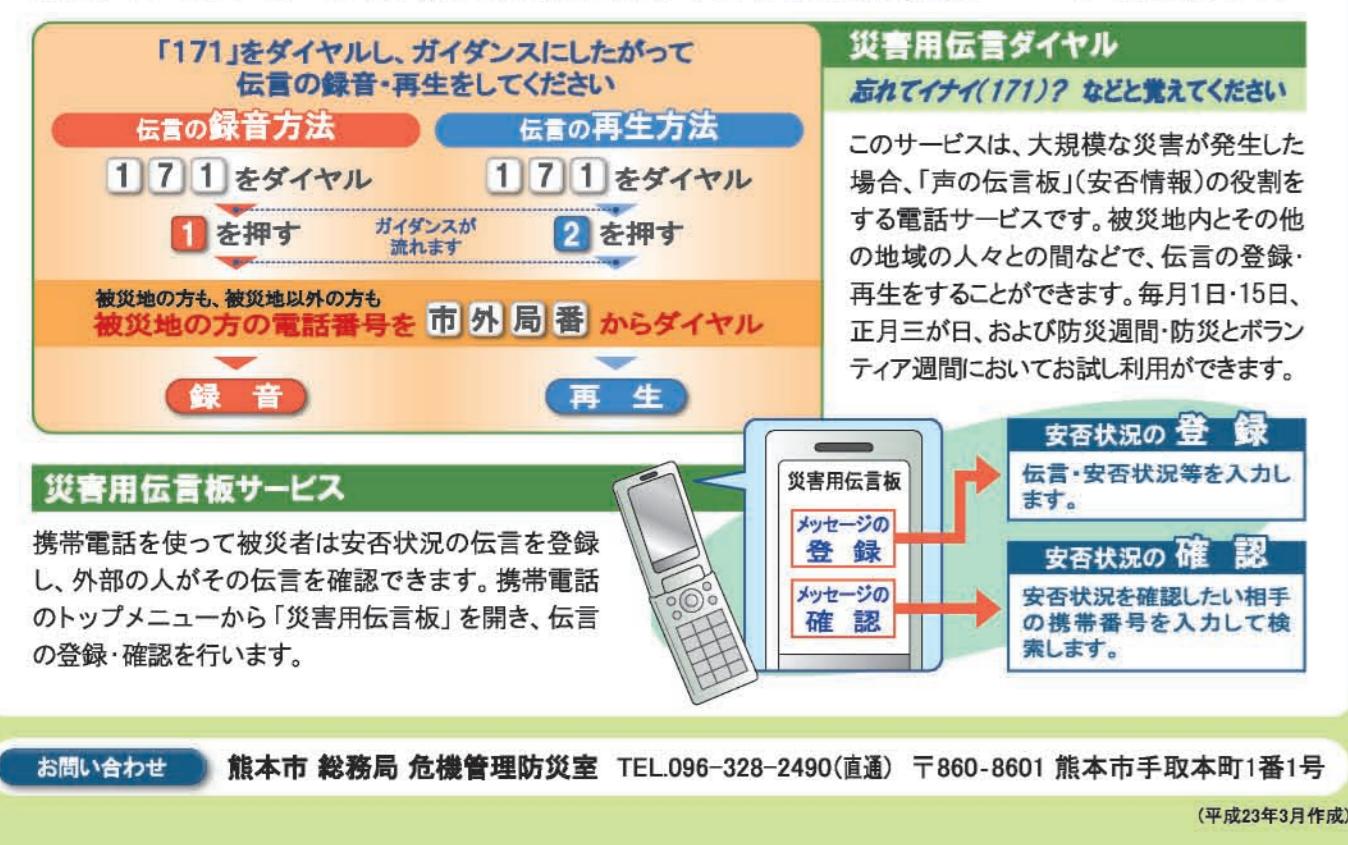
熊本市地震ハザードマップ

揺れやすさ 地震度

●我が家家の防災メモ		火事・救助 119	震度 110	震度 171
我が家家の避難先(隣家宅・避難場所など)		家族がなはれなった時の集合場所		
家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号	

●災害用伝言サービス

地震や洪などの大災害発生時は、電話利用が爆発的に増加し、電話がつながりにくくなる場合が日ごろ数回あります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」「災害用伝言サービス」が開設されます。



お問い合わせ 熊本市 総務局 危機管理防災室 TEL:096-328-2490(直通) 〒860-8601 熊本市手取町1番1号

(平成22年3月作成)

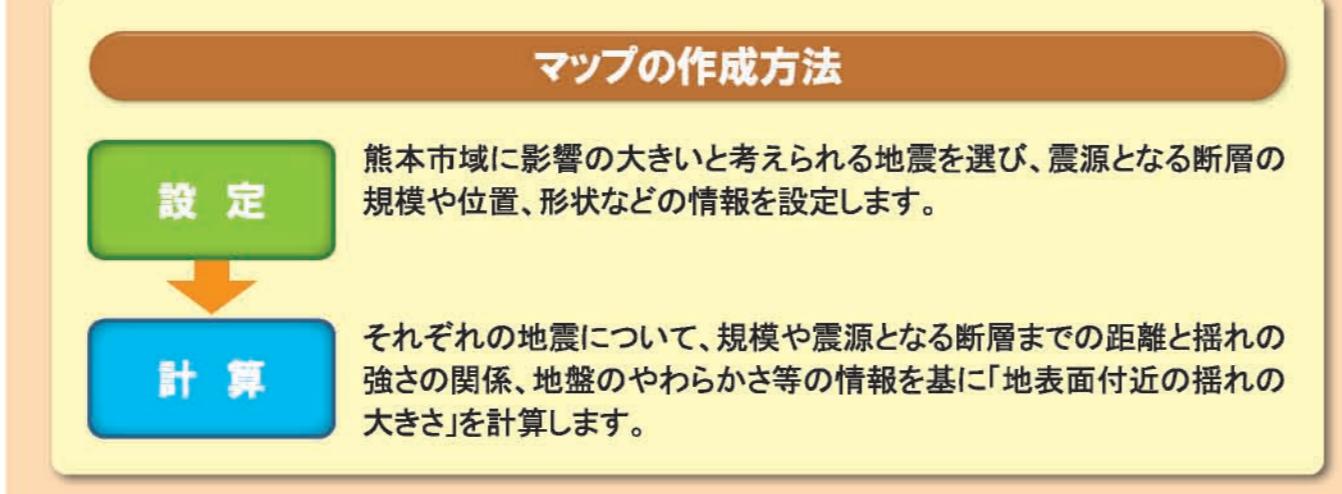


非常持ち出し品について

食品・水		飲食・安全用品		貴重品	
飲料(500mlパッケージ程度)	瓶水	ヘリメット(災防グッズ)	飲食用具(弁当箱・保冷・保温)	現金	財布(金庫・印鑑・権利書類)
乾パン・クラッカー・缶詰などの火をしないで食べられる物		救急医療用品(針・鋸・包帯)	病人や看護の常備薬	免許証	クレジットカード類
				運転免許証	
日用品	衣類など	洗面用具(歯ブラシ・石鹼)	手袋・軍手	その他	ミルク
筆記用具	タオル				おもちゃ
タブレット	タオル				
ティッシュペーパー	タオル				
ボトル(ビニール袋)	タオル				
燈油	タオル				
携帯電話	タオル				
発熱計	タオル				
電池	タオル				

揺れやすさ 地震度 マップとは

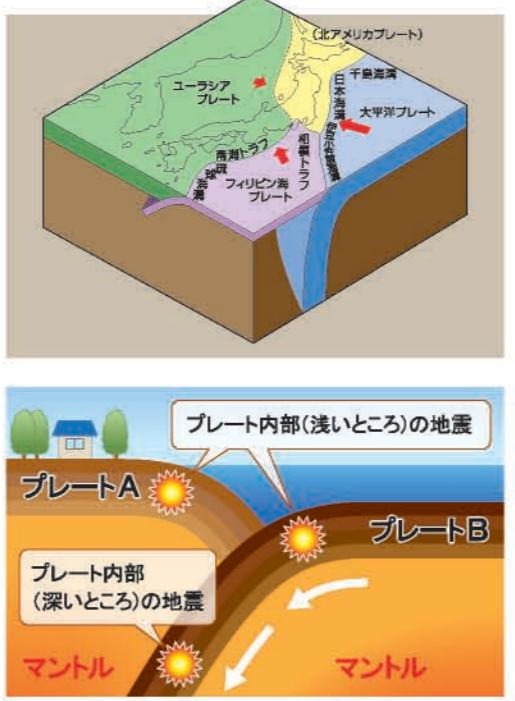
このマップは熊本市に影響をあたえる地震が発生した場合、どのくらいの震度が予測されるかを示したもので、市域に影響をあたえる地震として①立田山断層地帯、②布田川・日奈久断層地帯、③どこにでも起こりうる直下の地震の3つを想定しています。



地震発生の仕組み

地球の表面は、プレートと呼ばれる厚さ数10kmの岩盤で覆われています。プレートは1年に数cmくらいの速さで動いており、この動きが地震を発生させるエネルギーになります。地震の起こり方は大きく2つに分かれられます。ひとつは、プレートの境界で発生する地震、もうひとつはプレートの内部で発生する地震です。プレートの境界で発生する地震は、海溝型地震とよばれ、地震調査研究推進本部のホームページで詳しく紹介されています。

地震調査研究推進本部 URL http://www.jishin.go.jp/main/yosokuchi/kaikoku/25_nankai.htm



プレートの境界で発生する地震

日本列島はユーラシアプレートと北アメリカプレートに乗っており、太平洋沖の青龍座(アセラ)のプレート下に、太平洋プレートと北アメリカプレートの沈没带(スイムバーン)という別のプレートの境界で発生する地震、すなはちプレートの内部で発生する地震です。

プレートの内部で発生する地震

プレートが動くことによって、プレートの内部にもひずみが蓄積している。そのため、「声の伝播」(走査時間)が長いといわれます。このプレートの内部で発生する地震は、プレートの底(マントル)で発生するものと比べて活動頻度で発生するものがあり、平均7年の阪神・淡路大震災はプレートの内部における内陸型地震でした。

地震発生時の行動

地震発生時は、あわてず、落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。



地震が起きたら...



1 立田山断層地震

●地震の概要

立田山断層地震は、立田山北麓から熊本都市圏の中心を北東から南西方向に斜めに走る立田山断層(約15km)が動くことを想定しています。本断層は、1889年(明治22年)に起こった熊本地震との関係も指摘されていますが、詳しいことはわかつていません。

マグニチュード

M6.5

今後30年以内の地震発生確率

不明*

*立田山断層地震は、地震調査研究推進本部における地震断層でないため発生確率が算定されていません。

※立田山断層地震は、

地震調査研究推進本部

における地震断層でないため発生確率が算定されていません。

※立田山断層地震は、</p